

汰之由候也、仍執達如件、

應安七年九月廿七日

智兼 花押

道轍 花押

地頭殿

大掾殿 麻生殿 宮崎殿 小高殿 鹿島殿 東條殿 小栗殿 小田殿 同兵
部少輔入道殿 吉原殿 難波殿 山河殿 鹿島大禰宜殿 以上十三通、名所
付之外者、同文章所

〔香取神宮古文書纂〕海夫注文 常陸國

阿波 崎

あはざきの津 東條能登入道

ふつとの津 一方吉原知行分

ふつとの津 一方東條能登入道

ひろとの津 同人

あんちうの津 小田知行分

みやきさきの津 玉造知行分

川むかひの津 同人

さるをがはの津 同人

谷田部の津 あかし知行分

やたべの津 柴崎知行分

おきすの津 鹿島知行分

たかはまの津 石神知行分

大ふなつ 同人

馬渡 東條地頭

むまわたしの津 領家

かしわざきの津 小田兵部少輔入道

ふなこの津 同人

あさうの津 麻生知行分

あまさきの津 鹿島知行分

くわうやの津 同人

日川の津 同人

につかはの津 同人

はながさきの津 花崎知行分

はきはらの津 はぎはら知行分

賀村の津 鹿島知行分

かむらの津 鹿島知行分

はたきの津 鹿島知行分

ねかゝの津 ならやま知行分